

1. 中核支援人材発掘育成事業「ヤオツナガルプロジェクト」

～ローカルイノベーションエコシステム構築プロジェクト～【事業期間:令和元年度～令和3年度】

(1) 事業内容

市内中小企業の新たな事業展開を促進するために、市内中小企業と市外の大企業や大学、またはクリエイターとの新たに繋がる機会を八尾市が主体的に創出していく中で、市内に所在するコンソーシアムや市内牽引企業、先輩起業家がメンターとして活躍する機会を設けることにより、新陳代謝と新たな繋がりが生まれ、そのサイクルが好循環し、他の市内中小企業者等も次々と新たな事業に挑戦するチャレンジングな環境が整った地域となる、「自発的なイノベーションエコシステム」の構築をめざす。

要素事業	取り組みの概要(実績ベース)	今後の方針等
①ビジネスプラン策定事業	起業家や事業の課題解決に向けたセミナーやワークショップを実施したほか、域内外の企業家等によるシンポジウムを実施し、ビジネスプランのブラッシュアップやエコシステムの構築を行った。	【方針:事業の発展】 世代経営者や起業を志す者を支援し、先輩起業家が後輩起業家のメンターとなるベンチャーエコシステムの体制づくりをさらに推進していきたい。
②オープンイノベーション推進事業	(1)八尾市内企業と地域内外の大企業やベンチャー企業、大学等との協業によるイノベーション創出のためのプログラムの実施  (2)企業間連携によるオープンイノベーションを促進するため、テーマを設定したアイデアソンを開催し、企業間の相互理解を深め、オープンイノベーションの実現に向けた機運を醸成  (3)本事業の発展及び自走化に向けた持続可能な組織づくりのための仕組みやスキームの構築	【方針:事業の発展】 事業の自走化を推進するためのスキームが構築され、またそれらを支援するイノベーション推進拠点の体制整備を進めていく。
③デザインイノベーション推進事業	(1)ブラッシュアップミーティング開催 (素材・加工技術等を活かすためにクリエイター等とのマッチングを促進するハンズオン支援)  (2)オープンコンペ開催 (生まれた成果物の販路マッチング支援及びクリエイターとのマッチング機会の創出)	【方針:事業の発展】 今回の取り組みでいい事例が生まれたので引き続き、そのノウハウをしっかりと引き継いで、さらに事業を発展させていきたい。

(2) 総合戦略における位置づけ : 基本目標5 身近なしごとの場が充実する、未来志向の産業振興をめざすまち

(3) 重要業績評価指標(KPI)

